

市指定無形民俗文化財 神明神社の御船神事

1 日時

平成30年10月7日（日）午後2時00分～午後3時30分（予定）

2 場所

神明神社（牧之原市細江1911）

3 内容

市内4ヵ所の神社で行われる御船神事の一つで、「激練り」といわれるほど御船を激しく練るのが特徴です。発祥は定かではありませんが、江戸時代の終わりから明治時代にかけて、川崎湊・寄子湊の廻船問屋や漁師たちが、海運の興隆と海上の安全を願って始めたと考えられています。

神事に使う御船は、江戸時代の商船である樽廻船を精巧に模したもので、昭和11（1936）年に製作されました。現存する御船のなかでは、最も大きい全長約260センチを誇ります。

他の御船神事と違い、地区内を練り歩くことはせず、境内でひたすら船首と船尾を交互に持ち上げる動作が行われます。かつての港の習俗を伝える伝統行事として、市の無形民俗文化財に指定されています。

4 スケジュール（例年） ※時間前後の可能性あり

14:00頃 式典・帆上げ

14:30頃 練り

